

日本財団助成金事業

成年後見制度

利用促進法における

# 中核機関 の役割と 実務研修 2022

12月2日  
鹿児島県  
薩摩川内市

12月5日  
北海道札幌市

12月16日  
長野県長野市

12月25日  
神奈川県  
茅ヶ崎市

3月1日  
福島県いわき市  
(オンライン)

2月8日  
岐阜県大垣市

2月3日  
滋賀県栗東市

## ① 講義・講演

中核機関が担う役割、権利擁護支援とはそもそも何なのかを講義形式で学びます。  
開催地の地元の要望に合わせて多様なテーマを取り扱いました。  
2022年度は下記のテーマで実施しました。

『権利擁護支援の基本』・『中核機関の役割』

『行政が期待する中核機関の役割』

『“当事者参加”を支える権利擁護支援とは...』

～地域社会に参加し、共に自立した生活をおくるために～

『権利擁護支援の基本と意思決定』 等

## ② 実践報告

現地事務局の地元で中核機関の職員をされている方、全国の先進的な取り組みをしている団体の方に中核機関での活動内容の報告をしていただきます。

中核機関の立ち上げについてや運営のポイントを学びます。

## ③ グループワーク

数人のグループに分かれて自由に話し合います。

研修内容に限らず、日頃の業務の中で思い悩むことなどを他地域・他団体の方とざっくばらんに意見交換する場としていただきたいと思います。

# 成年後見制度利用促進法における 中核機関の役割と実務研修 参加者の感想のご紹介

## 【講義】

- 成年後見制度だけの問題だけではなく、地域に権利擁護祖仕組み、地域をどう作るのかの大切さを改めて感じました。
- 日々の実践の積み重ねを独自の取り組みに反映させていきたいと思えます。大変参考になりました。ありがとうございました。
- 意思決定の支援について研修中なので、とてもわかりやすく勉強になりました。ご本人も含めて多数の人で課題解決していけるといいと思いました。本人の意思の後にある、本当のニーズを見極めることがむつかしいと思いました。
- 権利擁護、能力存在、意思決定など権利擁護に関する定義などを整理して学ことができました。

## 【実践報告】

- 様々な視点から成年後見人制度や中核機関について学ぶことができて良かったです。本日の講演、パネルディスカッションで学んだことを、今後の業務や生活に活かしていきたいと思いました。
- いろんな視点での意見があり、考えさせられることが多かったです。一つの教えに偏らないことも大切だと感じました。
- 様々なお立場の方から取り組みや意見をお聞きすることができ、大変参考になりました。各地域や自治体で様々な課題がある中で工夫して取り組みが進められており、本日もご紹介いただいた内容も参考としながら更に取り組みを進めていきたいと思いました。

## 【グループワーク】

- 参加者の立場や状況は違えど、話すことでネットワークが出来上がっていく様が垣間見られました。
- 他地域の取組や課題を知ること、権利擁護支援に対する参加者の支援内容等、沢山の情報を知ることができた。
- 聞きたかったことが聞けて良かったです。とても参考になりました。
- 実情を聞く事が出来てよかった。色々と問題を抱え大変な中でも目の前にいる方々の為に皆さん頑張っておられると感じ、元気を頂いた。

一般社団法人 全国権利擁護支援ネットワーク

[事務局]

〒273-0005 千葉県船橋市本町6-3-16 レックスマンション603号室

TEL:047-407-4584 MAIL [info@asnet-japan.net](mailto:info@asnet-japan.net)

HP <http://asnet-japan.net/>

